

祝 還 暦

●特集● 多久市市制施行 60 周年

きらり輝く60

昭和29年5月1日に1町4村が合併し、多久市が誕生しました。
今号は、市が保管している多久市の風景写真などを現在の状況と比較しながら振り返ります。

昔の多久駅前



◀現在の多久駅前の様子。区画整理が進み、様子が一変しています。左側の建設中の建物は、8月にオープン予定の多久市まちづくり交流センター「あいばれっと」。今後はまちなかの“リビング”のように市民の交流の拠点となる施設です。

昭和40年代前半の議会



◀昭和29年の多久市議会発足当時は、合併町村の臨時特例により、100人の議員がいましたが、翌年には定員30人となり、24人、22人、20人と移行し、現在の16人となっています。議会の様子はケーブルテレビで視聴できます。

旧庁舎の市民課窓口



◀当時の住民基本台帳は手書きで、現在のようなシステムがなかったため、住民票の発行や印鑑証明書などの交付は、かなりの時間を要していました。現在は、すべてデータ化され処理時間も大幅に短縮されています。

【事業名】

スローライフまちづくり

全国都市会議

【実施日】 10月25日(土)～26日(日)

【実施場所】 東原庁舎ほか

【内容】

地域の生活や文化を再認識する機運を高め、新しい価値を見出し、魅力的で個性豊かなまちづくりを推進するスローライフまちづくり全国都市会議総会を開催します。参加都市との意見交換や、基調講演、パネルディスカッションなどを行うスローライフサミットをはじめ、歓迎レセプションや聖廟積菜の見学会等を実施する予定です。

【事業名】

宝くじスポーツフェア「ドリム・ベースボール事業」

【実施日】 11月29日(土)～30日(日)

【実施場所】

多久市野球場および中央公民館

【内容】

財団法人自治総合センター主催の宝くじ社会貢献事業で、元プロ野球選手のみなさんを迎え、記念講演や野球教室、親善試合を開催します。

・ 名球会選手の記念講演会

・ 少年少女ふれあい野球教室

・ アトラクション

・ (ホームラン競争など)

・ ドリームゲーム

(地元選抜との試合)